



▲「三原だるまだ、わっしょいわっしょい」。だるま行列に参加する小学生と園児の元気な掛け声で始まった三原神明市。だるま市や植木市などの露店が並んだ会場は、たくさんの人でにぎわいました(2/12～14 三原神明市 JR三原駅北側一帯)



▲的に弓を射って、豊年と無事を祈願する御弓神事。的の中心を狙おうにも、弓を引くのに一苦労(2/11 市無形民俗文化財財御弓神事 佐木島 向田亀山八幡神社)



▲駅伝の部と、タイムトライアルの部に参加した小学3～6年生。寒さにも負けず一生懸命走った子どもたちの顔には、達成感が溢れていました(1/31 うきしろカップ小学生駅伝大会 やまみ三原運動公園)



▲地域の人によって大切に守り継がれ、7年に1度開催される祭。弓の弦を打ちながら、祝詞を唱える弓神楽が奉納され、五穀豊穡と家内安全を祈りました(2/7 四季荒神祭 久井町助原)



▲神明市の初日、くす玉割りややっさ踊りなどで、1年後に控えた事業の開幕に向けて機運を高めました。同日からは樽募金が始まり、たくさんの人に協力いただいています(2/12 瀬戸内三原 築城450年事業プレオーニングセレモニー 浮城広場)